

------(前回からの続き)-----

タイチ「じゃあ、DOSを起動させてみて」

チアキ「えっと、スタートボタンを押して、その中のすべてのプログラムを
ポイント。アクセサリ、そして、コマンドプロンプトっと」

チアキ「うわぁ、地味な画面...」

Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]

(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

C:¥Documents and Settings¥Administrator>

真っ黒な画面にわけのわからないアルファベット。確かに、タイチ先輩がくれたメモにある説明と同じだけど...。明らかにきょとんとしているチアキを見てタイチが言った。

タイチ「で、どうする？」

チアキ「どうするって、何を...。うーん」

いつもウェブデザインで使っているウェブサイトビルダーのようなメニューもないし、マウスにも反応しないし、小さな白い四角が点滅はしているけど、とにかくフレンドリーじゃないっ！ウェブデザインの仕事に自信が出てきたチアキだが、DOSってもしかして手強いのかなとちょっとだけ不安に思った。

タイチ「DOSって、ワードとかエクセルのようにアプリケーションじゃないから、DOSを動かしたからといって何かあるわけじゃないんだよね」

チアキ「はぁ...」

タイチ「気のない返事だねえ。DOSってOS(オーエスの)一種で、Windowsと同じなんだよね。Windowsだって何か指示しないと何もしないでしょ」

チアキ「でも、WindowsとDOSが同じものにしてはとても見た目が違うし、同じなのにどうして、Windowsの中にDOSがあるのかわからないんですけど」

明らかに納得してない表情を汲み取ったタイチだったが、無理もないだろうと思った。ある意味でOSの機能にしるアイデアにしる、付け足し付け足してWindowsまで来たんだから背景なしに理解なんて難しいし....。

無理を承知でタイチは続けた。

タイチ「パソコンはDOSの時代からWindowsの時代へと進んできた歴史があって、DOSを使っているユーザのことも考えて、Windowsの中にDOSがあるようにしたと...。そんなふうにとりあえず覚えておく程度で

いいと思うよ。だから、正確にはDOSではなくて、Windowsの中ではDOSプロンプトってプログラムなんだよね」

チアキ「ふーん...」

タイチ「それとこれは覚えておいて欲しいんだけど画面に出ている"C:"から">"までをプロンプトって言うんだ」

チアキ「それで、コマンドプロンプトって言うんですか？」

タイチ「関連があるかもね。そして、プロンプトの後に点滅しているその四角のものをカーソルって言うんだけど、キーボードから入力するとそのカーソルの位置に文字が表示されるという決まりがあるんだ」

チアキ「ふーん...」

決まり事が多くて、なんだか納得しきれないチアキが、少し考えてからポツリと言った。

チアキ「それで、このDOSプロンプトってのは、どうやれば画面が変わるんですか？」

タイチ「コマンドで指示するんだよ」

チアキ「コマンドって、命令ってことですか？」

タイチ「そう、とにかくDOSに何かをして欲しかったらコマンドをキーボードで入力するんだ」

コマンドなんて、兵隊さんみたいだなあと思いながら、チアキはさっきから手帳にメモし続けている。

チアキ「それで、マウスは...」

タイチ「基本的には一切使わない。というか使えない。DOSが出来た当時、マウスなんて想定していなかったから。とはいっても、DOSって何でもできるから結局、最後にはマウスも使えるようにはしたけど、Windowsのようにマウスがないと使えないというよりは、マウスがあると面白いってというような感じだったんだ」

難しく説明すると引いてしまいそうだな...、タイチはふうーっと息を吐いて次のようにカンタンに言った。

タイチ「要は、DOSはキーボードと画面だけなんだ」

チアキ「操作効率落ちそう。というか信じられない...」

チアキがパソコンを触り始めた頃は、Windowsが当たり前だったし、学校で習ったときもマウスで操作して、キーボードは文字を入力するというのが、パソコンだった。大体、キーボードなんて名前とかタグのプロパティとか文字を打ち込むものだと思っていたのに...。一体何なの、このDOSって。

普通ならめげてしまいそうな場面だが、意外にチアキは興味津々の様子。気付けば、帰社時間からかなり時間が過ぎていた。電車の時間もあるだろうが

らとタイチが話を切り上げ始めていることにチアキは気付いた。

タイチ「チアキちゃんの世代だとそう思うかもね。それじゃ、起動させたDOSを終了してみようか」

チアキ「何かコマンドを入力するんですね」

タイチ「鋭いね。じゃあ、どんなコマンドでしょう？」

チアキ「数字とかコードとかですか。スパイ映画にあるような」

なるほどね…。いつもはウェブデザインでレイアウトをてきぱきとこなしているチアキちゃんでも、見たこともない世界だとパソコンの理解って、こんなものなのだろう…。自分とは違う発想の感覚に新鮮さを感じるタイチ。

タイチ「まさか、何かの英語の言葉だよ。英語で命令するんだ」

チアキ「バイバイとか？」

バカにされないかと不安気に聞いたチアキだったが、タイチの答えは意外に肯定的だった。

タイチ「近いね。出口だよ。映画館とかの…」

チアキ「EXITだ！」

タイチ「正解」

チアキは、当たって単純にうれしかった自分が滑稽だった。

タイチ「それじゃ、コマンドプロンプトの黒い画面のカーソルの位置から、そのまま"e"、"x"、"i"、"t"とタイプして、エンターキーを押してみて」

チアキ「ええっと大文字ですか、小文字ですか？映画館の出口表示は大文字だけど…」

また、バカなことを聞いたのかなと思ったチアキだったが、そうじゃないんだとばかりにタイチの答えはすぐに返ってきた。

タイチ「これは、これからも同じだから覚えておくといいけど、DOSのコマンドって、大文字小文字の区別がないんだ。だから、どちらでもいいんだ」

チアキ「へえー。じゃ、小文字で打とうっと…最後にエンターですね。あ！画面が消えた！凄い！もう一回やってもいいですか」

DOSを起動しては終了すること数回。話を聞いていると複雑でつまらなそうなDOSが、キーボードを使って命令して画面が消えたことに、何だか妙にうれしい感じがしたチアキ。なぜか、ちょっと考えてみてピンときた。

チアキ「パソコンを直接操作しているって感じですね！本当にスパイ映画の

ワンシーンみたい」

オイオイ、それほどでもないだろうって思うけど、興味のある方向に動機付けできればいいのかなとタイチは思った。それに、そろそろ帰ってもらわないと自分の仕事時間がなくなる。

タイチ「じゃ、予定通りに明日のウェブデザインレビューはよろしくね」

チアキ「はい！じゃあ、今日はこの辺で帰りまーす」

----- (つづく) -----

Copyright(C) 2005 rpn hacks! All rights reserved